横浜市立 小山台中学校　令和 4 － 6 年度版　中期学校経営方針　（ 令和 5 年度修正 ）

学校教育目標	『未来をたくましく生きる力を育てます』 ○自立 ○協働 ○挑戦

学校概要					
創立 41 周年	学校長 白田 淳子	副校長 桝渕 祥子	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 3
児童生徒数: 388 人	主な関係校: 小山台小学校 小菅ケ谷小学校 本郷台小学校 日野南小学校 本郷小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
○基礎・基本の確実な習得を図り、知識を活用する力 ○コミュニケーション能力を高め、協働して問題解決する力 ○地域との結びつきを深め、持続可能な社会を目指す姿勢

小山台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
小山台中学校 小山台小学校 小菅ヶ谷小学校 本郷台小学校	豊かな関わり合いの中で、自らの課題に粘り強く取り組む子ども ・自らの課題に取り組み、進んで活用・探究する力を育てる。 ・豊かな関わり合いを大切にして、共に生きる力を育てる。 ・教育環境を整えることにより、学力向上を図る。

中期取組目標
・主体的に学ぶ態度を育み、わかる喜びを実感できる授業の実践を目指します。【基礎・基本の定着】 ・生徒一人ひとりを大切にするきめ細やかな指導を継続し、学校が安心して過ごせる場となるように努めます。【人権、共生社会】 ・挨拶を大切にし、人との関わりを深め、行事や体験活動を通して互いの良さを認め合うとともに、たくましく生きる力を育てます。【コミュニケーション能力、体験型の学習】 ・体力向上一校一実践を推進し、学校生活の中で体力向上に取り組みます。【体力向上、食育】 ・地域行事やボランティア等に、進んで取り組む姿勢を育てます。【地域貢献、社会に開かれた教育課程】

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①主体的に学習に取り組む姿勢をめざし、授業目標を明確にし、「見通し」と「振り返り」を生かした授業を展開する。②基礎・基本の定着のために分かる授業を行い、教科相談日を設けて学習に対する不安を解消させていく。③組織的な授業評価を行い、授業改善に生かす。④思考力や判断力、生きる力を育む授業研究を推進する。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①道徳の授業や行事などの経験をもとに自らを振り返り、意見交換を通して物事を多面的に考え、今後の生活に変化を生み出そうとする姿勢を育む。②人権講演会やワークショップ、人権作文、平和学習などを通して、人権意識や態度を高め、感性豊かな生徒を育む。③挨拶運動を展開し、相互の関係を深める。
担当	道徳	
体	健やかな体	①保健体育科授業、学校行事、部活動等の場面を生かして、体力作りを推進する。②日常の健康観察を徹底し、健康的な学校生活を送れるように取り組む。③感染症予防、生活リズム、食に関する教育を進め、健康に関する意識を高める。
担当	保健体育部	
公開	キャリア教育・進路指導	①ワークシートやワークショップなどを通して、自分を見つめ、自分の価値に気付き、将来の姿を考えることができるように支援する。②キャリアに関する授業を通して、現在・未来の社会の様子について適切に情報収集し、協働的に課題解決することで、将来の勤労・人生について考えを深められるようにする。③進路先を自分で決定できるように、進路情報の発信や相談活動を推進する。
担当	総合係・特活(進路)	
いじめへの対応		①定期的なアンケート、YPアセスメントの活用と相談活動の充実を図り、いじめ防止対策委員会の定期開催を未然防止・早期発見に役立てる。②生徒主体のいじめのない学校づくりのための横浜子ども会議への継続的な取組の充実を計る。③SC、SSW及び関係諸機関との連携を深め多様な視点から生徒を見守る。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①学校として信頼を高めるため、校内研修を充実させ、ミドルリーダーを中心としたメンターチームによる主体的・計画的な運営により、教職員の資質・能力の向上を目指す。②組織や会議の見直しを行うとともに、教育課程委員会による行事検討を通じ、時代に合わせた持続可能な行事あり方を決定していく。
担当	教務部(研修)	
特別支援教育		①特別支援教育委員会の充実を図り、研究研修を行い特別支援教育に対する職員の理解を深め、全教職員で共通認識を持って支援に取り組む。②ユニバーサルデザインの環境・授業づくりを推進する。③アセスメントと情報共有を個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用して行う。
担当	特別支援教育	
児童・生徒指導		①教育相談日を設けたり、日々の挨拶・声掛けを大切にするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に取り組み、生徒と教職員の信頼関係を構築する。②生徒の変化やサインを見逃さず、適切な初期対応を展開する。情報共有や相談など、保護者・地域との連携を図り、組織的に取り組む。
担当	生徒指導部	
地域連携・学校運営協議会		①学校だよりやホームページの充実、授業参観・説明会・学校行事等の機会を利用した情報発信などにより相互理解、協働、参画を推進する。②放課後学び場事業、地区懇談会等地域連携の内容充実を図るとともに、学校運営協議会の適切な運営を学校経営や教育の充実に生かす。
担当	生徒指導部	
安全防災		①防災訓練を通し、災害時の対処方法や生命の大切さを理解する。②定期的に安全点検を実施することで学校全体の安全を確保する。
担当	保健指導部	